

使ってみよう漢方薬（第3回）

神経痛、筋肉痛、炎症に

風邪薬で有名な**葛根湯**を使ってみよう。

まず自分で使ってみる。体力中等度以上で、首肩のこりがあればよく効く。ブルブルって寒気を感じた時に、白湯ですぐ1包飲む。汗をかく前が大事。体が温まり、少し汗をかくと、風邪がふっとぶ。眠くならないが、体を休めて無理はしないこと。

次に**家族**に使ってみる。風邪や鼻炎、気管支炎、肩こり、五十肩、神経痛、湿疹、じんましんなど

顎関節症に使ってみる。咬筋、側頭筋に圧痛があり、肩こりを伴うなら効果が出やすい。

上顎洞炎などの炎症に使ってみる。頭痛が強い場合、2 葛根湯加川芎辛夷に変更してみる。

三叉神経痛に使ってみる。カルバマゼピンと併用すると眠気が減り、投与量も減らしやすい。加工附子を加えると鎮痛作用が強まる。

葛根・麻黄・桂枝・生姜	発汗解熱作用
芍薬	発汗し過ぎを抑制
大棗・生姜	滋養強壯
葛根・大棗・芍薬・甘草	筋弛緩、止瀉作用
麻黄・桂枝・芍薬・甘草	抗炎症作用
麻黄・桂枝・芍薬・生姜・大棗	鎮痛作用
麻黄・甘草・大棗・生姜	鎮咳作用

麻黄（エフェドリン）交感神経興奮、気管支拡張、通鼻

★ 覚醒作用があり、寝る前に飲むと眠れなくなる。ドーピングに引かかるので注意。

痛み

110 立効散

68 芍薬甘草湯

1 葛根湯

保険病名

抜歯後の疼痛、歯痛

筋肉痛（急激におこる筋肉のけいれんを伴う疼痛）

三叉神経痛（上半身の神経痛）、炎症性疾患、肩こり

炎症

122 排膿散及湯

1 葛根湯

歯周炎、歯肉膿瘍（患部が発赤、腫張して疼痛をともなった化膿症）

三叉神経痛（上半身の神経痛）、炎症性疾患、肩こり

かっこんとう

葛根湯 1

解表剤：太陽病期 気血水に働く
麻黄剤 桂枝湯加減方

太陽病期は病邪が体表近くにあり発汗をほどよく促すことで、表の症状を解除し、治癒に導く。

抗炎症作用も期待できる。

【効能効果】

自然発汗はなく頭痛、発熱、悪寒肩こり等を伴う比較的体力のあるものの次の諸症：感冒、鼻かぜ、熱性疾患の初期、炎症性疾患（結膜炎、角膜炎、中耳炎、扁桃腺炎、乳腺炎、リンパ腺炎）肩こり、上半身の神経痛、じんましん



桂枝 芍薬 甘草
葛根 大棗 麻黄 生姜